

1 学習に取り組んでいる主な分野

☐ 生物多様性	☐ 海洋	☒ 防災・減災	☒ 気候変動
☐ エネルギー	☒ 環境	☐ 文化多様性	☒ 世界遺産・文化財
☐ 国際理解	☐ 平和	☒ 人権	☐ ジェンダー平等
☒ 福祉	☐ 生産と消費	☐ その他（ ）	

2 ユネスコスクールとしての活動の概要

本校の教育目標「未来を生き抜く力（徳・知・体）と社会性を併せ持つ生徒の育成」に向けて、ユネスコスクールが重点的に取り組む3つの分野を通してESDを実践し、問題解決的な学習を通して生徒の育成に努めている。具体的には、将来にわたって持続可能な社会づくりに向けての知識や価値観を持ち行動できる力、体系的な思考力、情報収集・分析能力、コミュニケーション能力の育成を目指している。具体的には、①防災・減災に関する学習、②福祉に関する学習、③職業に関する学習、④地域の炭鉱関連施設に関する学習を行っている。



3 特徴的な活動事例の紹介

○ 防災・減災学習「いのちを守る」(全学年)

1年では、市消防本部や防災危機管理室による講話を聞き、地域のハザードマップ作成や応急処置、避難所開設実動訓練などテーマ別学習を行った。2年では、地震に対する防災・減災意識を高めるために、神戸市の「人と防災未来センター」での学習や家庭科「災害に備える住生活・食生活」での非常食作りを行った。3年では、「救命救急講習」を受講することで、自他の「いのちを守る」ために必要な知識・技能を習得することができた。

このように、災害に向けた事前の準備を行うことで、災害に強い地域づくりもめざしている。



○ 福祉に関する学習「福祉と生き方」(第1学年)

高齢者福祉に対する考えや知識を深めるために、大牟田市の福祉総合計画などをもとに、大牟田市で暮らすさまざまな立場の人たちを支えている市役所・福祉施設職員、企業の方々の講話や福祉系のコースをもつ高校生や大学生との座学を通して、それぞれの仕事や資格、福祉的ケアの在り方について学習した。また、防災・減災学習（避難所開設実動訓練など）とも関連させることで、福祉に対する考えをさらに深めることができた。



○ 地域の炭鉱関連施設に関する学習「郷土教育」(第2学年)

本校の周辺には、炭鉱に関連した下記の施設等を訪問することで、炭鉱で懸命に働いた人達の様々な苦難（人権問題等）を知るとともに、そのような状況の中で炭鉱を中心とした産業（石炭化学コンビナート）により、大牟田が発展してきたことを理解することができた。

- ・三池集地監
- ・一浦囚人墓地
- ・与州奥都城
- ・宮浦炭鉱記念公園



3 今後の活動計画

次年度も総合的な学習の時間「学びの旅」を柱として、SDG s 達成を目指した学習を3年間で問題解決能力・学び方・主体的態度、自己の生き方を考える力や実践力・解決策などに必要な資質・能力を身に付けさせ、持続可能なまちづくりに貢献できる人材を育成する。

○ 本校の各学年のE S Dのねらい

【全 学 年】 防災・減災に関する学習「いのちを守る」(SDG11・13)

- ・防災教育を通して、自他の「いのちを守る」ために必要な知識・技能を学ぶ。

【第1学年】 地域の炭鉱関連施設に関する学習「郷土教育」(SDG11)

福祉に関する学習「福祉と生き方」(SDG3・11・16)

- ・地域の炭鉱関連施設（世界文化遺産等）の訪問等を通して、様々な人々の苦難（人権問題等）の上に、大牟田が発展してきたことを理解する。
- ・福祉体験学習を通して、介護や福祉における現代社会が抱える課題や現実問題を理解し、課題克服へ向けて思考する。

【第2学年】 進路（職業）に関する学習「自己実現とキャリア教育」(SDG4・8・11)

- ・職場体験学習を通して勤労の意義を感じ、将来の職業生活との関連について考える。

【第3学年】 保育・進路に関する学習「保育体験と自己実現教育」(SDG3・4・8・11)

- ・保育体験や進路学習を通して、今後の生き方について考えるとともに、他者への思いやりや自らの成長を支えている人たちの存在や思いを理解する。